

特集2

# 山に親しみ、 山にまたたび、 山と生きる

山梨県は、県土の78%を森林が占める全国でも有数の森林県です。また、その森林の46%は県民共有の財産である「県有林」で、公有林の面積比率は全国一位です。

この豊かな森林は、木材の供給のほか、水源のかん養や災害防止、県土の保全など、多くの公益的機能を持っています。最近では地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収などの機能も注目されています。

県では、FSC森林管理認証による世界基準に沿った県有林の管理や、やまなし森づくりコミッションによる企業や団体の森づくり活動の支援などに取り組んでいます。

多くの先人が、長い歴史の中で守り育ててきたこの森林を、より豊かなものとし、次の世代に伝えていくために、今を生きる私たちに何ができるのか。

まず森林を知り、森林に親しむことから始めてみませんか。

## FSC森林管理認証

山梨県の県有林は、平成15年に公有林としては日本で初めてFSC森林管理認証を取得しました。

### ○FSC森林管理認証とは？

FSCはドイツに本部をおく国際的な機関Forest Stewardship Councilの略称です。FSC森林管理認証は、その森が

- 健全であるか
- 正しく管理されているか
- 貴重な自然が守られているか
- 豊かな収穫をもたらす、地域からも愛され利用されているか

といった項目(10の原則56の規準)について国際的な規格に照らして審査し、合格した森林に対し認証する制度です。

そして、認証された森林から生産された木材やその木材から作られた製品(柱材や板、紙等)には、FSCのロゴマークが付けられます。このロゴマークは、生産から加工・流通までが正しく管理された製品であるという証です。消費者はそのマークの付いた製品を選ぶことにより、間接的に森林の適正な維持管理に貢献することになります。



SA-FM/COC-001842  
©1996  
Forest Stewardship  
Council A.C.

### ○認証誕生の背景

現在、東南アジア、アマゾン、アラスカなどの世界各地で、過剰な森林伐採、盗伐が横行し、森林の荒廃が進み、地球環境の悪化の原因にもなっています。

日本では海外のような違法伐採はありませんが、日本は世界第3位の木材輸入国で、輸入される木材の20パーセント程度はこうした違法伐採によるものだと言われています。結果的に日本も海外の違法伐採に荷担していることになるわけです。

こうしたことを抑制するために、適正に管理された森林で生産された木材であることを証明する方策が必要とされ、世界的な規模でFSC森林管理認証が誕生しました。

### ○県有林での取り組み

本県の認証面積は県土の約三分の一にあたる14万3千ヘクタールで、全国一位の面積を誇っています。

これは県有林がこれまで積み重ねて

きた森林管理の実績が国際的にも認められたということ。

FSC森林管理認証は取得すれば永久に持続するものではなく、年に1回の監査と5年ごとの更新により、継続的に適正な森林管理が行われていくことが求められます。



榎守屋材木店代表取締役 守屋 武さん  
(上野原市在住)

当社は、FSC認証材を適切に管理する事業所に与えられるCOC認証を平成16年5月に取得しました。数あるハウスメーカーに対抗するには、地域密着型で地域の良さを広めていくことが大事だと考えたからでした。

食の安全が叫ばれている現在、食材については産地表示が消費者の重要な関心事になっています。しかし残念ながら、木材についてはまだそれを気にする人は少ないのが現実です。私は、一生に一度の大きな買い物である住宅も、その住宅に使われる木材の生産地がどこかということが耐久性や住み心地にお

県ではこの制度を活用し、持続可能な森林経営をさらに推進し、地球にやさしい森林管理を目指しています。県有林の豊かな自然環境と美しい森林景観を守るためにも、この制度の理解とFSCロゴマークのついた製品の普及にご協力ください。

いても重要なポイントになると思っています。山梨の風土で育った木を使って家を建て、施主様には安心して快適に暮らせる家を提供したいと考えています。私の手がけた住宅では、通し柱や管柱はヒノキ、梁にはカラマツの集成材やスギ、野地などにはスギというようにFSC認証材を使い分けています。FSC認証材の流通はまだまだ多くありませんが、自信と誇りを持ってこれからも仕事に励みたいと思っています。



FSC住宅の県内第1号(甲府市内)

# やまなし 森づくりロミシンヨンは

## ○設立の経緯

県土の約78%を森林が占める山梨県では、昔から人々は森と共に暮らしてきました。

木材を利用して家を建て、枝を集めて燃料とし、下草を刈って家畜の餌や肥料とするなど、暮らしの中で森の恵みを手前に利用し、自然に森と親しみながら森林を守ってきました。

しかし、近年、林業活動の停滞や、山村地域の過疎化、高齢化により手入れ不足の森林が目立ってきています。

また一方で、地球温暖化防止をはじめとした森林の多面的な役割に対する県民の期待や、企業の社会貢献活動としての森づくりに対する関心が高まりを見せています。

このため、昨年8月、森づくり活動の支援組織として森林、環境関係のボランティア団体、23団体とともに「やまなし森づくりロミシンヨンを」設立しました。

## ○森づくりロミシンヨンは

「やまなし森づくりロミシンヨンは」企業や団体による森づくりを支援するため、活動フィールドの紹介、資材や機材の貸し出し、活動計画の提案など、さまざまな支援を行っています。

また、森づくりの必要性、森づくり活動の大切さなどについて知ってもらい、「森づくり活動の広範な展開」「質の高い活動」「継続的な活動」を目指した、県民や流域住民参加の森づくりを推進しています。

ロミシンヨン設立後、森づくり活動への参加を希望する企業や団体からの相談に応じ、今年5月末現在で7件の企業・団体の森をコーディネートし、森林整備協定が締結されました。また、すでに活動を始めている企業に対する活動資材の提供、森づくりに関する講師の派遣などを行ってきました。

ロミシンヨンでは、今後もそれぞれの団体の活動や、専門分野に対するノウハウを生かしながら、企業や団体、県民が希望する森づくり活動を支援していきます。

## やまなし山の日

県では、ふるさとの山や森林を見つめなおし、その恩恵に感謝する契機とするため平成9年に8月8日を「やまなし山の日」と定めました。毎年、この日を中心に「山に親しむ」「山に学ぶ」「山と生きる」をコンセプトとしたさまざまなイベントなどを実施しています。

## ○山の日記念事業 8月8日「森の教室」

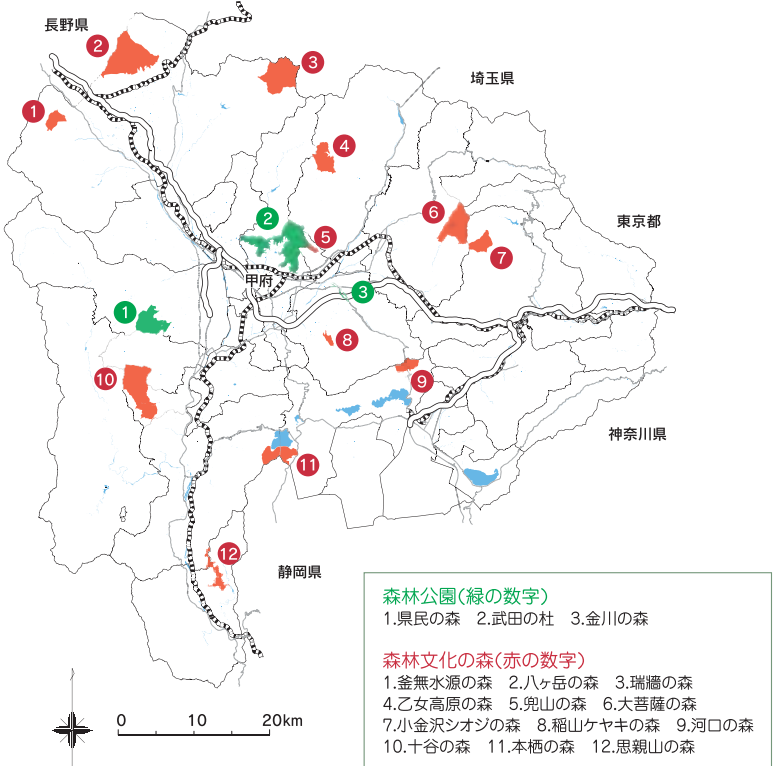
開催日 8月8日  
場所 県民の森(南アルプス市)  
内容 櫛形山トレッキングコース(定員40名) 癒しのアート体験コース(定員20名) 野草を食べるコース(定員20名)  
問い合わせ:申し込み先  
やまなし「山の日」実行委員会事務局  
(森林環境総務課内)  
電話 0555(223)1634

## 「森林公園」「森林文化の森」に出かけてみませんか？

県では、県民の皆さんに気軽に森林と触れ合っていたくために、「森林公園」と「森林文化の森」づくりに取り組んでいます。

森林公園は「県民の森」「武田の杜」「金川の森」の3カ所、誰もが安全に森林と親しむことができます。

森林文化の森は県内各地に12カ所あり、あるがままの森林を生かして整備しており、より本格的に自然と触れ合うことができます。



- 森林公園プログラム紹介**
- 県民の森(南アルプス市)**
- プログラム 森のクラフトウィーク
  - 内容 森で拾った小枝や木の実を使った工作体験
  - 日時 8月1日・8月5日  
午前10時～午後3時
  - 対象定員 どなたでも
  - 参加費 一人400円  
(小学生以下は大人同伴)
  - 申込み 不要
- 武田の杜(甲府市)**
- プログラム 森のおしやれ工房
  - 内容 森の素材を使った工作体験
  - 日時 8月10日  
(午前の部)午前10時～正午  
(午後の部)午後1時30分～午後3時30分
  - 対象定員 午前・午後各10組の親子
  - 参加費 一人300円
  - 申込み 7月10日より電話受付  
電話 0555(252)8551  
(武田の杜管理事務所)
- 金川の森(笛吹市)**
- プログラム 森の清流まつり
  - 内容 ニジマスのつかみ取り体験
  - 日時 8月2日(雨天の場合は8月3日(延期))  
午前9時30分～正午
  - 対象定員 幼稚園・保育園児、小中学生  
定員150名
  - 参加費 一人200円  
(濡れてよい服装・魚を入れるものを持参)
  - 申込み 7月19日より電話受付  
電話 0555(4)8505  
(金川の森管理事務所)

森林公園、森林文化の森では、このほかにも森林とふれあえるさまざまなプログラムを用意して、皆さんをお待ちしています。詳しくは、県ホームページをご覧ください。

- 森林公園 [http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kenyuurin/70\\_003.html](http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kenyuurin/70_003.html)
- 森林文化の森 [http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kenyuurin/70\\_012.html](http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kenyuurin/70_012.html)



株式会社オギノ社長  
荻野 寛二さん

株式会社オギノでは環境保全活動の一環として、甲府市川窪町の荒川ダム東岸の山林約1.7ヘクタールを「オギノの森」と命名し、今年から約6年かけて植林や下刈り、間伐などの森林整備を行うこととしています。そのスタートとして5月18日に、社内ボランティアをはじめ、お客さまにも参加していただき、県や市、関係各団体の協力のもと、約2000本のヒノキとハンノキの植樹を行いました。



オギノではこれまでCO<sub>2</sub>削減に向け



た電力消費の削減や、ごみ減量化に向けたリサイクルボックスの設置、レジ袋の削減などの環境保全事業を進めてきています。この森林整備は、さらに一歩進めた環境保全活動として、より身近な自然保護において実践することを目指しています。

豊かな自然に囲まれている山梨では、自然はあたり前にあるものだと思いますが、美しい自然を守っていくには、人の手による整備が必要です。

今後も下刈り、間伐などの森林保全活動を行ってまいりますので、ぜひ多くの方に参加していただき、楽しみながら環境について考える機会にいただければと思います。



※このほか、さまざまな関連イベント、山村施設への無料招待などを実施します。詳しくは、県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/sinkan-som/18872570574.html>